



須賀川市「消防団参集アプリ」活用について

福島県須賀川市 市民安全課

1 須賀川市の概要

本市消防団は、1本部、13分団、67班の体制で組織し、平成28年度から幼年消防クラブを設立、平成29年度からは女性消防団員及び機能別消防団員を制度化、平成30年7月に「消防団参集アプリ」（以下「アプリ」という。）を導入するなど、消防団活性化に努めています。

2 アプリ導入の経緯

アプリ導入前の火災発生時における連絡体制は、消防署から、団本部及び団幹部等に火災発生メールが配信され、その後、団幹部等が所属団員へ別途、個別に火災発生情報を伝達していました。

このため、各団員に対する出動要請に時間を要し、その分、消防団活動の初動が遅くなっていました。

そこで、迅速な出動体制を整備するため、火災発生場所の管轄班及び応援班の全団員に対して、一斉に情報発信できるアプリを導入しました。

3 消防団参集アプリの機能の概要

アプリソフトは、各団員が所持しているスマートフォン等に各団員が容易にインストールでき、火災発生時はもとより、平常においても消防団活動をサポートしています。

(1) 火災発生時

アプリは次の5つの機能により、団員をサポートしています。

- ①火災が発生した際に、スマートフォンから、緊急性が高いことを知らせるサイレン音とともに、火災発生情報がポップアップ画面に表示されます。
- ②出火場所をアプリ上で確認でき、火災現場に向かう際には、ナビゲーション機能を利用



所属団員で出動状況の共有



幹部団員は各班出動状況を把握

用することができます。

- ③アプリ上で消火栓等の水利位置を確認できることから、最適な水利に到着する時間が短縮できます。
- ④各団員の出動状況や到着時間を班内で共有できます。
- ⑤消防車両の部署ごとの停車位置を確認するため、後続車両も効率的に現場に到着することができます。

また、各団員が屯所を経由せずに直接現場に出動する場合であっても、自らが所属する分団（班）に迅速に合流することができます。

（2）平常時

アプリは平常時においても団員をサポートする機能が充実しています。

①消防水利点検機能

アプリでは管内の消火栓等の情報（位置、種別、口径、点検状況等）を地図上で確認できるに加えて、消火栓等の点検活動を行った際に、点検記録や画像を登録することができます。

これにより、不具合が見つかった消火栓等が使用できないことを各団員が情報共有することができ、消火活動において水利を選択す

る際に大いに役立ちます。

②その他（チャット機能による情報共有等）

アプリは、チャット機能も備えており、団幹部からの各団員に対する指示事項も容易に伝達することができるほか、被服の更新申請ができるなど、消防団活動を幅広くサポートしています。

4 取組の効果

アプリの導入により、火災時に、団員がいち早く現場に到着することができることに加え、全団員が水利位置を確認できるため、火災現場から水利が離れており中継放水を要する場合でも、出動要請のない消防団員が自発的に出動するなど、団員からは「管轄以外の水利も把握でき、出動時に大変有効だ。」といった声が上がっています。

また、消防署においてもアプリを活用できるため、平常時には水利点検状況、火災時には消防団の部署位置も共有できるようになっています。

5 今後の活用について

令和元年の台風第19号（令和元年東日本台風）により、本市も甚大な被害を受けました。この中で、消防団は昼夜を問わず、警戒活動をはじめ、避難誘導、被災住宅の片付け等、多くの分野で活動に当たりました。

このように、消防団に求められる役割が多様化している中で、住民の安全はもとより、前線で活動する消防団員の安全を確保するため、水害や地震などの災害情報の発信についても、アプリの活用を検討していきたいと考えています。



水利情報が確認でき、簡単な操作で点検記録が可能